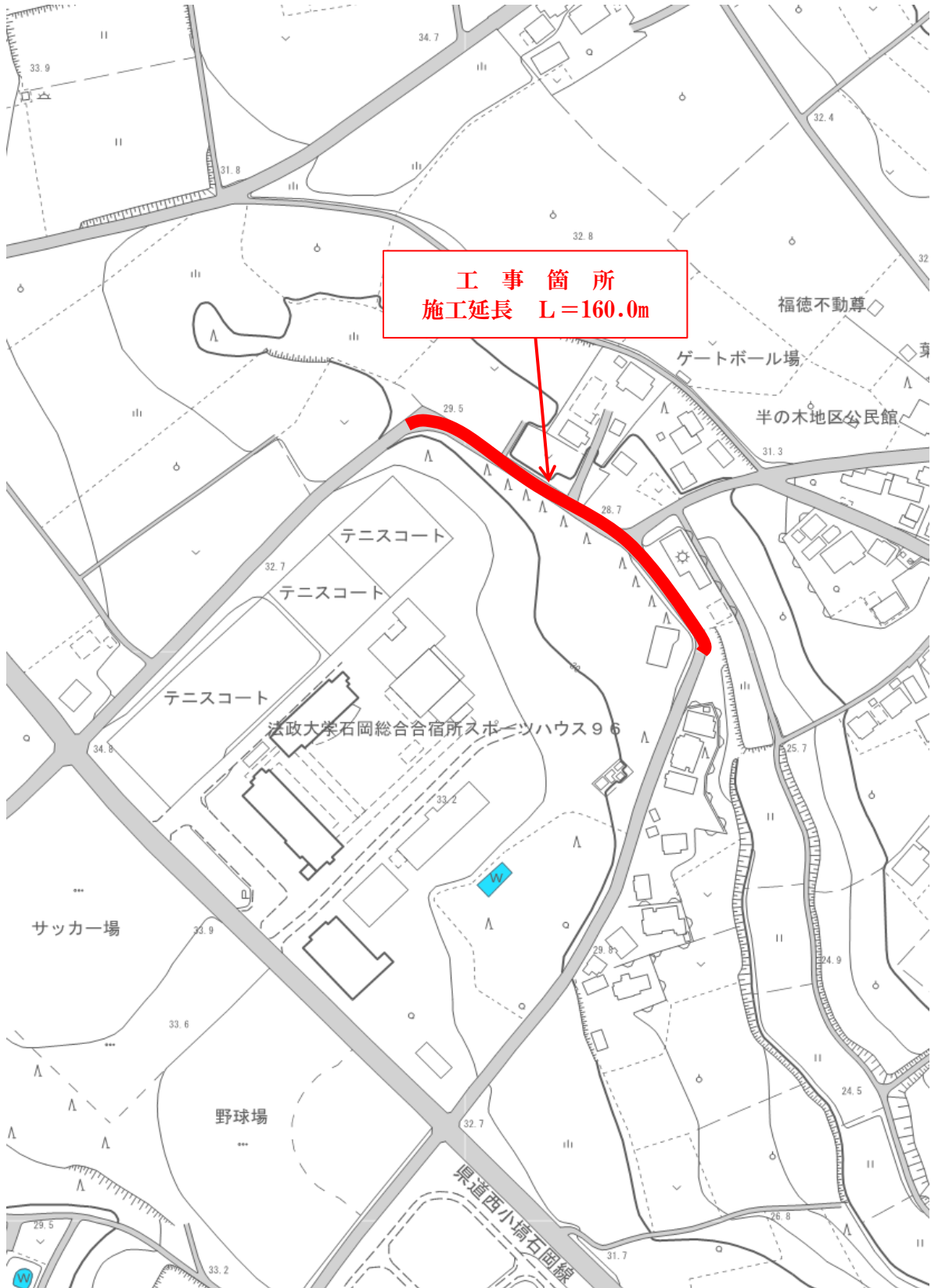


工事起工 概要書

部 長	次 長	課 長	課長補佐	係 長	課 員	審査員	設計者			
執行年度		令和 元年度								
工事番号 工事名		30線単 市道A0201号線排水路整備工事				第31-01-303-0-201号 起工 設計書				
工事場所 又は履行場所		石岡市 半ノ木地内								
施工方法		請負			原契約年月日		年 月 日			
工期又は 履行期間		令和 年 月 日 から 令和 年 月 日 まで 110 日間								
受注者										
費 目		起 工	第1回変更	増 減 (△)						
起 工 額					変更請負に付する工事価格 =変更積算工事価格×請負比率 請負比率: $\frac{\text{起工(前回変更)時の請負決定額}}{\text{起工(前回変更)時の積算額}}$ (小数第7位切り捨て6位止め)					
請負(委託) に付する額										
工事(業務) 価 格										
測量試験費 又は工事雑費					変更積算工事価格 - 円					
消費税相当額					請負比率 -					
請負(委託) 決 定 額					変更工事価格 - 円					
工 事 概 要										
内 容		規格1	数量1	単位1	規格2	数量2	単位2	規格3	数量3	単位3
道路排水整備工事		L =	160	m	型式		式			
施工延長		L = 160.0 m								
道路土工		N = 1.0 式								
側溝工 (KUR600×600)		L = 35.0 m								
集水柵工 (800×800×900)		N = 1.0 箇所								
舗装工 (再密As20 t=50mm)		A = 662.0 m ²								
変更理由										

位置図

30線単・市道A0201号線排水路整備工事
石岡市 半ノ木 地内



30線単・市道A0201号線排水路整備工事（石岡市 半ノ木 地内）



特記仕様書

(総則)

第1条 本特記仕様書は、石岡市の発注する建設土木工事に適用する。

2 本特記仕様書は、茨城県土木部・企業局土木工事共通仕様書(以下、「共通仕様書」という。)を補完する。

(工期)

第2条 工期は、契約書に記載された期間内に完了するよう順守すること。なお、休日等には日曜日、祝日、年末年始休暇及び夏季期休暇を含んでいる。

(工事数量)

第3条 工事数量は、別冊工事設計書内に記載されたとおりとする。

(工程関係)

第4条 工事施工の作業時間帯は、下表を標準とすること。なお、作業時間帯の変更を要する場合には、速やかに監督員と協議すること。

工種	作業時間帯	期間
全工種	作業開始 9時00分 作業終了 17時00分	工期期間内

(建設資材)

第5条 使用する資材のうち、下表の工種には、茨城県リサイクル建設資材を使用すること。なお、指定されたリサイクル建設資材の調達が困難な場合は、監督員と協議すること。

工種	リサイクル建設資材	規格
基礎工	再生クラッシャーラン	RB-40
下層路盤工	再生クラッシャーラン	RC-40
舗装工	再生アスファルト	再生密粒As20

(建設機械)

第6条 使用機械のうち、バックホウについては、排出ガス対策型の第1次基準値以上のものを使用すること。

2 排出ガス対策型機械の調達が困難な場合は、監督員と協議すること。なお、排出ガス対策型機械を使用しないこととなった場合、契約変更の対象となることがある。

第7条 使用機械のうち、バックホウについては、低騒音(低振動)型建設機械を使用すること。

2 低騒音(低振動)型機械の調達が困難な場合は、監督員と協議すること。なお、低騒音(低振動)型機械を使用しないこととなった場合、契約変更の対象となることがある。

(過積載の防止)

第8条 本工事の施工にあたっては、次の事項を遵守すること。

- (1) 積載重量制限を超過して工事用資材等を積み込まず、また積み込ませないこと。
- (2) 過積載を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。
- (3) 資材等の過積載を防止するため、建設発生土の処理及び骨材の購入等にあたっては、下請事業者及び骨材等納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。

- (4) さし枠装着車，物品積載装置の不正改造をしたダンプカー及び不正表示車等に土砂等を積み込まず，また積み込ませないこと。また，これらの車両を工事現場に出入りさせないこと。
- (5) 過積載車両，さし枠装着車，不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等，過積載を助長するような行為をしないこと。
- (6) 取引関係のあるダンプカー事業者が不正行為(過積載、さし枠装着車や不正表示車等の使用)を行っている場合には，早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
- (7) 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」(以下「法」という。)の目的に鑑み，法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ，同団体等への加入者の使用を促進すること。
- (8) 下請契約の相手方や資材納入業者の選定にあたっては，交通安全に対する配慮に欠ける者やダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させた者を排除すること。

(交通誘導員の配置)

第9条 工事の施工にあたっては，別添図面のとおり，交通誘導員及び保安要員を配置し，一般交通等に支障のないよう十分注意して施工すること。なお，現道等に関わる工事又は業務において交通誘導員の配置が必要な場合には，交通誘導員Bを必要員数配置するものとし，かつ上記指定箇所の場合には内1人以上交通誘導員A(有資格者)を配置するものとする。なお，交通誘導員は警備業者の警備員としているが，やむを得ない理由により受注者がこれを確保できない場合には，上記以外の者が交通誘導を行うことを認め，交通誘導に支障が無いよう指示書で指示するものとする

(発生土の処理)

- 第10条 本工事における発生土については，下記により搬出すること。
- (1) 搬出先にストックヤードを利用するよう指定されている場合は，設計書により(財)茨城県建設技術管理センター(以下「管理センター」という)，が管理する所定のストックヤードを利用すること。
 - (2) 工事着手前に，ストックヤードの利用申込みを管理センターに対して行うこと。
 - (3) 事前にストックヤードに搬出する土砂の土質試料を採取し，必要な試験を行うとともに，その結果を管理センターへ提出すること。
 - (4) 搬出する10日以上前に，管理センターと運搬経路，工程等について打ち合わせを行うこと。
 - (5) スtockヤード利用料金は，設計地山土量1m³当たりの単価で算出し，管理センターの請求により支払うこと。
 - (6) このほかストックヤード利用の詳細については管理センターと協議のこと。
 - (7) その他搬出先が指定されている場合は，監督員と協議を行い，搬出先の確認を行った後，周辺に影響の無いよう搬入を行うこと。

(不正軽油の使用防止)

第11条 本工事の施工にあたっては，下記の事項を遵守すること。

- (1) 現場で不正軽油を使用しないこと。
- (2) 現場で不正軽油を使用させないこと。
- (3) 不正軽油を購入しないこと。
- (4) 取引関係にある運送事業者等が不正軽油を使用している場合は，早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
- (5) 下請契約の相手方，または燃料納入業者を選定するにあたっては，不正軽油を使用する者，または不正軽油を販売する者を排除すること。

- (6) 県税事務所職員による使用燃料の抜き取り調査に協力すること。また、調査の際には、現場代理人が立ち会うこと。
- (7) 当該工事に関して、法令(地方税法等)に違反していることが判明した場合は、直ちに監督員に報告すること。

(隣接工事との諸経費の調整)

第12条 該当なし

(労働安全衛生法等の遵守)

第13条 請負人は、共通仕様書1-1-34に基づき、労働安全衛生法等関係法令を遵守し、特に次の事項に留意すること。

- (1) 受注者は、高所作業における作業床、囲い、二段手すり、幅木、防網の設置、作業員の安全帯の使用、悪天候時の作業禁止、照度の保持、踏み抜きの防止、不用のたて杭等における危険の防止、昇降設備の設置、墜落危険箇所の立入禁止等により、墜落・転落災害の防止措置を講じること。
 - (2) 受注者は、建設機械による作業に先立ち、当該建設機械の転落、地山の崩壊等による作業員の危険を防止するため、地形や地質の状況等を調査し、作業計画を定めてから作業を行うこと。また、作業中は、機械の制限速度、転落・接触等の防止、誘導者の合図、運転者が運転位置から離れるときの措置、機械の移送、搭乗・使用の制限、修理等について、関係法令を遵守すること。
 - (3) 受注者は、地山の掘削作業に先立ち、地山の崩壊や埋設物の損壊等により危険を及ぼすおそれのあるときは、作業箇所及び周辺の地山について調査し、掘削の時期及び順序を定めて作業を行うこと。また、土砂崩壊災害の防止等のため、手掘り掘削における掘削面の勾配や土止め支保工、防護網の設置、作業員の立入禁止、埋設物等による危険の防止、掘削機械等の使用制限、誘導者の配置、保護帽の着用、照度の保持等について、関係法令を遵守すること。
 - (4) 受注者は、建設機械の操作や玉掛け作業を、法令で定める免許を有する者、または技能講習や特別教育修了者に行わせること。
 - (5) 受注者は、掘削面の高さが2m以上となる地山の掘削作業を行う場合、地山の掘削及び土止め支保工作業主任者技能講習を終了した者のうちから、地山の掘削作業主任者を選任しなければならない。
 - (6) 受注者は、土止め支保工の切り梁、腹起こしの取り付け、取り外し作業を行う場合、地山の掘削及び土止め支保工作業主任者技能講習を修了した者のうちから、土止め支保工作業主任者を選任しなければならない。
- 2 受注者は、監督員より作業員の免許等の提示を求められたときは、協力すること。

(疑義)

第14条 本工事の施工及び設計図書等に疑義が生じた場合には、監督員と協議のうえ、その指示に従うこと。

(現地地物等の保護)

第15条 本工事の施工により影響を受ける境界票等については控えをとり、亡失することのない様施工を行い、やむを得ない理由により移動させた場合は、施工後元の位置に復元すること。

(工事成績評定について)

第16条 本工事成績評定については、石岡市建設工事成績評定要綱に基づき評定を行うものとする。

工事数量総括（内訳）表

第 31-01-303-0-201 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	数量	単位	金額	細別内訳
道路改良			1	式		
道路土工			1	式		
掘削工			1	式		掘削 10.000 m3
残土処理工			1	式		土砂等運搬 40.000 m3 残土等処分 40.000 m3
排水構造物工			1	式		
作業土工			1	式		床掘り 40.000 m3 埋戻し 10.000 m3 基面整正 35.000 m2
側溝工			1	式		プレキャストU型側溝 35.000 m 側溝蓋 67.000 枚
集水桝・マンホール工			1	式		プレキャスト集水桝 1.000 箇所
擁壁工			1	式		
簡易土留工			1	式		柵板設置 32.000 m
構造物撤去工			1	式		
構造物取壊し工			1	式		舗装版切断 22.000 m 舗装版破碎 662.000 m2
運搬処理工			1	式		殻運搬 33.000 m3 殻処分 33.000 m3
仮設工			1	式		
交通管理工			1	式		交通誘導警備員 12.000 人日
舗装			1	式		
舗装工			1	式		

工事数量総括（内訳）表

第 31-01-303-0-201 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	数量	単位	金額	細別内訳
舗装準備工				式		不陸整正 646.000 m2
			1			
アスファルト舗装工				式		下層路盤 16.000 m2 上層路盤 16.000 m2 表層(車道・路肩部) 662.000 m2
			1			
区画線工				式		
			1			
区画線工				式		溶融式区画線 23.000 m 区画線消去 23.000 m
			1			
道路維持				式		
			1			
道路清掃工				式		
			1			
排水施設清掃工				式		側溝清掃(人力) 60.000 m
			1			
直接工事費計				式		
			1			
共通仮設費（率計上）				式		
			1			
共通仮設費計				式		
			1			
純工事費				式		
			1			
現場管理費				式		
			1			
工事原価				式		
			1			
一般管理費等				式		
			1			
契約保証費用				式		
			1			
工事価格				式		
			1			
消費税相当額				式		
			1			

工事数量総括（内訳）表

第 31-01-303-0-201 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	数量	単位	金額	細別内訳
請負工事費						
			1	式		

本工事費内訳書

第 31-01-303-0-201 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
道路改良									
道路土工									
掘削工									
掘削					10.000	m3			
掘削 土質(土砂), 施工方法(上記以外(小規模)), 施工数量(小規模(標準))					10.000	m3			施工P 第0001号代価表
残土処理工									
土砂等運搬					40.000	m3			
土砂等運搬 土砂等発現現場(標準), 積込機種・規格(ハック山積0.45m3(平積0.35m3)), 土質(土砂(岩塊・玉石混り土含む)), DID区間の有無(無し), 運搬距離(km)(DID区間無)(6.0km以下)					40.000	m3			施工P 第0002号代価表
残土等処分					40.000	m3			
ストックヤード利用料金 発生土搬入					40.000	m3			
排水構造物工									
作業土工									
床掘り					40.000	m3			
床掘り 土質(土砂), 施工方法(平均施工幅1m以上2m未満), 土留方式の種類(無し), 障害の有無(障害無し)					40.000	m3			施工P 第0003号代価表
埋戻し					10.000	m3			

本 工 事 費 内 訳 書

第 31-01-303-0-201 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
									施工P 第0004号代価表
				埋戻し 施工方法(最大埋戻幅1m未満)	10.000	m3			
				基面整正	35.000	m2			
				基面整正	35.000	m2			施工P 第0005号代価表
				側溝工					
				プレキャストU型側溝	35.000	m			
				U型側溝(KUR600×600) 作業区分(据付け), L=1,000mmの使用の有無(無し), 夜間作業の有無(無し), U型側溝の種類(側溝(各種)), U型側溝の規格・仕様(L=2000mm), U型側溝の質量(1000kg/個以下), 時間的制約の有無(無し), 施工箇所における補正(無し), 基礎碎石施工の有無(有り), 基礎碎石の種類(再生クワッシュアレン 40~0), 基礎碎石設計数量(実数入力)(1.41 m3/10m)	35.000	m			
				側溝蓋	67.000	枚			
				側溝蓋(IR-600) 作業区分(据付け), 夜間作業の有無(無し), 蓋版の種類(蓋版(各種)), 規格・仕様区分(40を超え170kg/枚以下), 時間的制約の有無(無し), 施工箇所における補正(無し)	64.000	枚			
				側溝蓋(IH0-6) 作業区分(据付け), 夜間作業の有無(無し), 蓋版の種類(蓋版(各種)), 規格・仕様区分(40を超え170kg/枚以下), 時間的制約の有無(無し), 施工箇所における補正(無し)	3.000	枚			
				集水桝・マンホール工					
				プレキャスト集水桝	1.000	箇所			
				プレキャスト集水桝 作業区分(据付), 製品質量(kg/基)(1200kgを超え1600kg以下), 基礎碎石の有無(有り), 費用の内訳(全ての費用)	1.000	基			施工P 第0006号代価表

本工事費内訳書

第 31-01-303-0-201 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
				プレキャスト集水桝(材料費)800×800×900	1.000	基			施工P 第0007号代価表
				擁壁工					
				簡易土留工					
				柵板設置	32.000	m			
				柵板設置工 柵板規格(L1500 L2000 W300),作業区分(据付・撤去)	21.000	枚			
				H鋼引抜(バックホウ使用) L=1.0m	21.000	本			第0008号代価表
				H鋼打込(バックホウ使用) L=1.0m	21.000	本			第0009号代価表
				構造物撤去工					
				構造物取壊し工					
				舗装版切断	22.000	m			
				舗装版切断 舗装版種別(アスファルト舗装版),アスファルト舗装版厚(15cm以下),費用の内訳(全ての費用)	22.000	m			施工P 第0010号代価表
				舗装版破碎	662.000	m2			
				舗装版破碎 舗装版種別(アスファルト舗装版),障害等の有無(無し),騒音振動対策(不要),舗装版厚(10cm以下),積込作業の有無(有り),費用の内訳(全ての費用)	662.000	m2			施工P 第0011号代価表
				運搬処理工					
				殻運搬	33.000	m3			

本工事費内訳書

第 31-01-303-0-201 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
	殻運搬				33.000	m3			施工P 第0012号代価表
	殻発生作業(舗装版破碎), 積込工法区分(機械(騒音対策不要、厚15cm以下)), DID区間の有無(無し), 運搬距離(km) (DID区間無)(6.5km以下), 費用の内訳(全ての費用)								
	殻処分				33.000	m3			
	アスファルト廃材処理費(中間処理施設)				78.000	t			
	掘削材 40cm以下								
	仮設工								
	交通管理工								
	交通誘導警備員				12.000	人日			
	交通誘導警備員B				12.000	人日			
	舗装								
	舗装工								
	舗装準備工								
	不陸整正				646.000	m2			
	不陸整正				646.000	m2			施工P 第0013号代価表
	補足材料の有無(有り), 補足材料平均厚さ(44mm以上49mm未満), 補足材料(粒度調整碎石 M-30), 費用の内訳(全ての費用)								
	アスファルト舗装工								
	下層路盤				16.000	m2			
	下層路盤(影響部)				16.000	m2			施工P 第0014号代価表
	全仕上り厚(実数入力)(200mm), 施工区分(1層施工), 材料(再生クラッシュ RC-40), 費用の内訳(全ての費用)								

本工事費内訳書

第 31-01-303-0-201 号

実施 起工 設計書

工事区分 工種 種別 細別 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
上層路盤	16.000	m2			
上層路盤(影響部) 全仕上り厚(実数入力)(150mm),施工区分(1層施工),材料(粒度調整碎石 M-30),費用の内訳(全ての費用)	16.000	m2			施工P 第0015号代価表
表層(車道・路肩部)	662.000	m2			
表層(車道・路肩部) 平均幅員(1.4m以上),1層当平均仕上厚 70mm以下(50mm),材料(再生密粒度アスファルト混合物(20)),瀝青材料種類(プライムコート PK-3),費用の内訳(全ての費用)	662.000	m2			施工P 第0016号代価表
区画線工					
区画線工					
熔融式区画線	23.000	m			
区画線設置 夜間作業の有無(無し),施工方法区分(熔融式手動),豪雪補正の有無(無し),規格・仕様区分(実線 15cm),時間的制約の有無(無し),塗布厚(1.5mm),排水性舗装に施工する場合の補正(無し),未供用区間の場合の補正(無し),熔融式塗料規格(含有量15~18%),塗料区分(白),プライマー規格(アスファルト舗装),費用の内訳(全ての費用)	23.000	m			
区画線消去	23.000	m			
区画線消去 夜間作業の有無(無し),施工方法区分(削取り式),豪雪補正の有無(無し),時間的制約の有無(無し),費用の内訳(全ての費用)	23.000	m			
道路維持					
道路清掃工					
排水施設清掃工					

本 工 事 費 内 訳 書

第 31-01-303-0-201 号

実施 起工 設計書

工事区分 工種 種別 細別 規格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
側溝清掃(人力)	60.000	m			
側溝清掃(人力清掃工) 側溝蓋規格(無蓋)	60.000	m			施工P 第0017号代価表
直接工事費計					
共通仮設費 (率計上)					
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費					
工事原価					
一般管理費等					
契約保証費用					
工事価格					
消費税相当額					
請負工事費					

第 0001 号 代価表 掘削

施工P(機32.28%, 労57.30%, 材10.42%, 市0.00%)

第 3 1 - 0 1 - 3 0 3 - 0 - 2 0 1 号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
バックホウ (クローラ) [標準] 排ガス型 (第2次) 山積0.28m3	32.280	%			K1
運転手 (特殊)	57.300	%			R1
軽油 1.2号	10.420	%			Z1
			(標準単価 積算単価)	

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 土質	1	土砂
J 0 2 施工方法	5	上記以外 (小規模)
J 0 6 施工数量	6	小規模 (標準)

第 0002 号 代価表 土砂等運搬

施工P(機48.98%, 労37.01%, 材14.01%, 市0.00%)

第 31-01-303-0-201号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10t積級	48.980	%			K1
運転手 (一般)	37.010	%			R1
軽油 1.2号	14.010	%			Z1
			(標準単価 積算単価))

条件名称	入力値	入力名称
J01 土砂等発生現場	1	標準
J02 積込機種・規格	3	バックホウ山積0.45m3 (平積0.35m3)
J03 土質	1	土砂 (岩塊・玉石混り土含む)
J04 DID区間の有無	1	無し
J09 運搬距離 (km) (DID区間無)	7	6.0km以下

第 0003 号 代価表 床掘り

施工P(機33.78%, 労54.36%, 材11.86%, 市0.00%)

第 3 1 - 0 1 - 3 0 3 - 0 - 2 0 1 号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
バックホウ(クローラ) [標準] 排ガス型(第1次) 山積0.45m3	33.780	%			K1
運転手(特殊)	54.360	%			R1
軽油 1.2号	11.860	%			Z1
			(標準単価 積算単価))

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 土質	1	土砂
J 0 2 施工方法	2	平均施工幅1m以上2m未満
J 0 3 土留方式の種類	1	無し
J 0 4 障害の有無	1	障害無し

第 0004 号 代価表 埋戻し

施工P(機7.00%, 労90.09%, 材2.91%, 市0.00%)

第 3 1 - 0 1 - 3 0 3 - 0 - 2 0 1 号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
バックホウ (クローラ) [標準] 排ガス型 (第1次) 山積0.45m ³	6.230	%			K1
タンパ及びランマ 質量 60~80kg	0.770	%			K2
普通作業員	54.740	%			R1
特殊作業員	26.900	%			R2
運転手 (特殊)	8.450	%			R3
軽油 1.2号	2.210	%			Z1
ガソリン レギュラー	0.700	%			Z2
			(標準単価 積算単価)

J 0 1 条件名称
施工方法

入力値
4

入力名称
最大埋戻幅1m未満

第 0005 号 代価表 基面整正

施工P(機0.00%, 労100.00%, 材0.00%, 市0.00%)
1.000 m2 当り

第 3 1 - 0 1 - 3 0 3 - 0 - 2 0 1 号

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
普通作業員	100.000	%			R1
			(標準単価 積算単価))
条件名称		入力値	入力名称		

第 0006 号 代価表 フレキャスト集水桝

施工P(機16.56%, 労78.01%, 材5.43%, 市0.00%)

第 3 1 - 0 1 - 3 0 3 - 0 - 2 0 1 号

1.000 基 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
バックホウ (クローラ) [標準・クレーン機能付き] 排ガス型 (第1次) 山積0.45m ³ 2.9t吊	13.800	%			K1
普通作業員	21.960	%			R1
世話役	19.940	%			R2
運転手 (特殊)	17.320	%			R3
特殊作業員	5.800	%			R4
軽油 1.2号	4.530	%			Z1
			(標準単価 積算単価))

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 作業区分	1	据付
J 0 2 製品質量 (kg/基)	5	1200kgを超え1600kg以下
J 0 3 基礎碎石の有無	1	有り
J 0 4 費用の内訳	1	全ての費用

第 0007 号 代価表 フレキャスト集水桝(材料費)

施工P(機0.00%, 労0.00%, 材100.00%, 市0.00%)

第 3 1 - 0 1 - 3 0 3 - 0 - 2 0 1 号

1.000 基 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
集水桝	100.000	%			Z1
			(標準単価 積算単価)

条件名称

入力値

入力名称

第 0008 号 代価表 H鋼引抜(バックホウ使用) L=1.0m

第 3 1 - 0 1 - 3 0 3 - 0 - 2 0 1 号

20.000

本 当 り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
世話役		人			
普通作業員		人			
運転手 (特殊)		人			
軽油 1. 2号	31.000	L			
バックホウ (クローラ) [標準] 排ガス型 (第2次) 山積0. 2 8 m 3		時間			
合計					
			単位当り		

条件名称

入力値

入力名称

第 0009 号 代価表 H鋼打込(バックホウ使用) L=1.0m

第 3 1 - 0 1 - 3 0 3 - 0 - 2 0 1 号

20.000

本 当 り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
世話役		人			
普通作業員		人			
運転手 (特殊)		人			
軽油 1. 2号	62.000	L			
バックホウ (クローラ) [標準] 排ガス型 (第2次) 山積0. 2 8 m 3		時間			
合計					
			単位当り		

条件名称

入力値

入力名称

第 0010 号 代価表 舗装版切断

施工P(機6.53%, 労52.76%, 材40.71%, 市0.00%)

第 31-01-303-0-201号

1.000 m 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 切削深20cm級	4.410	%			K1
特殊作業員	18.310	%			R1
世話役	9.400	%			R2
普通作業員	7.950	%			R3
コンクリートカッタ (ブレード) 径22インチ	38.030	%			Z1
ガソリン レギュラー	1.810	%			Z2
			(標準単価 積算単価))

条件名称	入力値	入力名称
J01 舗装版種別	1	アスファルト舗装版
J02 アスファルト舗装版厚	1	15cm以下
J05 費用の内訳	1	全ての費用

第 0011 号 代価表 舗装版破碎

施工P(機8.78%, 労85.16%, 材6.06%, 市0.00%)

第 3 1 - 0 1 - 3 0 3 - 0 - 2 0 1 号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
バックホウ (クローラ) [標準] 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	8.780	%			K1
普通作業員	39.620	%			R1
世話役	23.320	%			R2
運転手 (特殊)	22.220	%			R3
軽油 1.2号	6.060	%			Z1
			(標準単価 積算単価)

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 舗装版種別	1	アスファルト舗装版
J 0 2 障害等の有無	1	無し
J 0 3 騒音振動対策	1	不要
J 0 4 舗装版厚	3	10cm以下
J 0 6 積込作業の有無	1	有り
J 0 7 費用の内訳	1	全ての費用

第 0012 号 代価表 殻運搬

施工P(機48.98%, 労37.01%, 材14.01%, 市0.00%)

第 3 1 - 0 1 - 3 0 3 - 0 - 2 0 1 号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10t積級	48.980	%			K1
運転手 (一般)	37.010	%			R1
軽油 1.2号	14.010	%			Z1
			(標準単価 積算単価))

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 殻発生作業	2	舗装版破碎
J 0 2 積込工法区分	4	機械 (騒音対策不要、厚15cm以下)
J 0 3 DID区間の有無	1	無し
J 1 0 運搬距離 (km) (DID区間無)	4	6.5km以下
J 1 6 費用の内訳	1	全ての費用

第 0013 号 代価表 不陸整正

施工P(機20.14%, 労37.98%, 材41.88%, 市0.00%)

第 3 1 - 0 1 - 3 0 3 - 0 - 2 0 1 号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
モータグレーダ [土工用・排ガス対策型 (第1次)] ブレード幅 3.1 m	8.030	%			K1
ロードローラ [マカダム・排ガス対策型 (第1次)] 運転質量 10~12 t 締固め幅 2.1 m	6.270	%			K2
タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次)] 運転質量 8~20 t	5.840	%			K3
運転手 (特殊)	22.920	%			R1
普通作業員	15.060	%			R2
粒度調整碎石 M-30	37.780	%			Z1
軽油 1.2号	4.100	%			Z2
			(標準単価 積算単価)

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 補足材料の有無	2	有り
J 0 2 補足材料平均厚さ	12	44mm以上49mm未満
J 0 3 補足材料	11	粒度調整碎石 M-30
J 0 4 費用の内訳	1	全ての費用

第 0014 号 代価表 下層路盤(歩道部)

施工P(機6.55%, 労69.59%, 材23.86%, 市0.00%)

第 31-01-303-0-201号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
小型バックホウ(クローラ) [標準] 山積0.11m ³ (平積0.08m ³)	3.390	%			K1
振動ローラ(舗装用) [搭乗・コンバインド式] 運転質量3~4t	2.970	%			K2
普通作業員	29.270	%			R1
運転手(特殊)	24.560	%			R2
特殊作業員	13.740	%			R3
再生クラッシャーラン RC-40	22.030	%			Z1
軽油 1.2号	1.780	%			Z2
			(標準単価 積算単価)

条件名称	入力値	入力名称
J01 全仕上り厚(実数入力)	200	200 mm
J02 施工区分	1	1層施工
J03 材料	6	再生クラッシャーラン RC-40
J04 費用の内訳	1	全ての費用

第 0015 号 代価表 上層路盤(歩道部)

施工P(機5.95%, 労63.28%, 材30.77%, 市0.00%)

第 3 1 - 0 1 - 3 0 3 - 0 - 2 0 1 号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
小型バックホウ(クローラ) [標準] 山積0.11m ³ (平積0.08m ³)	3.080	%			K1
振動ローラ(舗装用) [搭乗・コンバインド式] 運転質量3~4t	2.700	%			K2
普通作業員	26.620	%			R1
運転手(特殊)	22.330	%			R2
特殊作業員	12.490	%			R3
粒度調整碎石 M-30	29.110	%			Z1
軽油 1.2号	1.620	%			Z2
			(標準単価 積算単価)

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 全仕上り厚(実数入力)	150	150 mm
J 0 2 施工区分	1	1層施工
J 0 3 材料	5	粒度調整碎石 M-30
J 0 4 費用の内訳	1	全ての費用

第 0016 号 代価表 表層(車道・路肩部)

施工P(機3.50%, 労8.65%, 材87.85%, 市0.00%)

第 31-01-303-0-201号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
ASフィニッシャ [ホイール型] 排出ガス対策型 (第2次) 舗装幅2.4~6.0m	1.880	%			K1
タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第1次)] 運転質量8~20t	0.530	%			K2
ロードローラ [マカダム・排ガス対策型 (第1次)] 運転質量10~12t 締固め幅2.1m	0.530	%			K3
普通作業員	3.130	%			R1
特殊作業員	1.790	%			R2
運転手 (特殊)	1.740	%			R3
世話役	0.610	%			R4
再生アスファルト混合物 再生密粒度AS混合物 (20)	80.650	%			Z1
アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	6.800	%			Z2
軽油 1.2号	0.340	%			Z3
			(標準単価 積算単価))
条件名称		入力値		入力名称	
J01 平均幅員		3		1.4m以上	
J04 1層当平均仕上厚 70mm以下		50		50 mm	
J05 材料		10		再生密粒度アスファルト混合物 (20)	
J06 瀝青材料種類		2		プライムコート PK-3	
J07 費用の内訳		1		全ての費用	

第 0017 号 代価表 側溝清掃(人力清掃工)

施工P(機0.00%, 労100.00%, 材0.00%, 市0.00%)

第 3 1 - 0 1 - 3 0 3 - 0 - 2 0 1 号

1.000 m 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
普通作業員	100.000	%			R1
			(標準単価 積算単価))

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 側溝蓋規格	1	無蓋

土 量 計 算 書

測 点	距 離	C : 掘削					
		断面積 (m ²)	平均断面積 (m ²)	土量 (m ³)	断面積 (m ²)	平均断面積 (m ²)	土量 (m ³)
No.7+7.40	0.000	0.6	—	—			
No.8	12.600	0.2	0.40	5.0			
No.9	20.000	0.2	0.20	4.0			
No.9+3.8	3.800	0.4	0.30	1.1			
合計	36.400			10.1			

面積計算書

測点	距離	下層路盤：再生碎石RC-40 t=20cm			上層路盤：粒調碎石M-30 t=15cm		
		長さ (m)	平均長さ (m)	面積 (m ²)	長さ (m)	平均長さ (m)	面積 (m ²)
NO. 7+7.95	7.950	0.50	—	—	0.50	—	—
IP. 7	5.880	0.50	0.500	2.9	0.50	0.500	2.9
NO. 8	6.170	0.50	0.500	3.1	0.50	0.500	3.1
NO. 9	20.000	0.50	0.500	10.0	0.50	0.500	10.0
合計	32.050			16.0			16.0

面積計算書

測点	距離	表層：再生密粒度7スコン t=5cm			不陸整正：粒調碎石M-30 t=5cm		
		長さ (m)	平均長さ (m)	面積 (m ²)	長さ (m)	平均長さ (m)	面積 (m ²)
B. P.	0.000	4.24	—	—	4.24	—	—
No.1	20.000	3.97	4.105	82.1	3.97	4.105	82.1
No.2	20.000	3.73	3.850	77.0	3.73	3.850	77.0
NO. 3	20.000	4.95	4.340	86.8	4.95	4.340	86.8
NO. 4	20.000	3.90	4.425	88.5	3.90	4.425	88.5
NO. 5	20.000	3.92	3.910	78.2	3.92	3.910	78.2
NO. 6	20.000	3.92	3.920	78.4	3.42	3.670	73.4
NO. 7	20.000	3.92	3.920	78.4	3.62	3.520	70.4
NO. 8	20.000	5.35	4.635	92.7	5.35	4.485	89.7
控除	制水弁 (Φ300) N=6箇所			(0.4)			(0.4)
合計	160.000			661.7			645.7

面積計算書

測点	距離	既設舗装版破碎					
		長さ (m)	平均長さ (m)	面積 (m ²)			
B. P.	0.000	4.24	—	—			
No.1	20.000	3.97	4.105	82.1			
No.2	20.000	3.73	3.850	77.0			
NO. 3	20.000	4.95	4.340	86.8			
NO. 4	20.000	3.90	4.425	88.5			
NO. 5	20.000	3.92	3.910	78.2			
NO. 6	20.000	3.92	3.920	78.4			
NO. 7	20.000	3.92	3.920	78.4			
NO. 8	20.000	5.35	4.635	92.7			
控除	制水弁 (Φ300) N=6箇所			(0.4)			
合計	160.000			661.7			

土 量 計 算 書

測 点	距 離	E : 床掘			R : 埋戻		
		断面積 (m ²)	平均断面積 (m ²)	土量 (m ³)	断面積 (m ²)	平均断面積 (m ²)	土量 (m ³)
No.7+7.40	0.000	0.8	—	—	0.3	—	—
No.8	12.600	1.2	1.00	12.6	0.3	0.30	3.8
No.9	20.000	1.2	1.20	24.0	0.3	0.30	6.0
No.9+3.8	3.800	1.2	1.20	4.6	0.4	0.35	1.3
合計	36.400			41.2			11.1

(名称) 長尺U字溝 KUR400×500

構造物位置延長（箇所）調書

左 側		右 側		摘 要
測 点	延長（箇所）	測 点	延長（箇所）	
BP付近 (C+4.0)	BP付近 ~ (C+14.0)		10.0 m	i号自由勾配
合計	10.0 m			

(名称) 長尺U字溝 KUR型600×600

構造物位置延長（箇所）調書

左 側		右 側		摘 要
測 点	延長（箇所）	測 点	延長（箇所）	
NO. 7+7.95 ~ NO. 9+3.15	35.2 m			
NO. 9+4.25 ~ NO. 12+2.85	58.6 m			
NO. 13+0.45 ~ NO. 15+1.06	40.6 m			
合 計	134.4 m			

(名称) 鉄筋コンクリートU形 U600 1種

構造物位置延長 (箇所) 調書

左 側		右 側		摘 要
測 点	延長 (箇所)	測 点	延長 (箇所)	
BP+1.1付近 ~ NO.7+6.85付近	146.7 m			
合 計	146.7 m			

(名称) 勾配コンクリート

構造物位置延長 (箇所) 調書

左 側		右 側		摘 要
測 点	延長 (箇所)	測 点	延長 (箇所)	
BP付近 (C+4.0)	BP付近 ~ (C+14.0)		0.39 m3	1号自由勾配
合 計			0.39 m3	

(名称) 集水樹

構造物位置延長 (箇所) 調書

左 側		右 側		摘 要
測 点	延長 (箇所)	測 点	延長 (箇所)	
1号集水樹 800×800×880 BP-0.10	1.0 箇所	6号集水樹 700×700×800 EP	1.0 箇所	
2号集水樹 800×800×900 NO. 7+7.40	1.0 箇所			
3号集水樹 800×800×900 NO. 9+3.70	1.0 箇所			
4号集水樹 800×800×900 NO. 12+3.40	1.0 箇所			
5号集水樹 800×800×900 NO. 12+19.90	1.0 箇所			
7号集水樹 800×800×1,050 EP	1.0 箇所			
8号集水樹 800×800×1,080 EP	1.0 箇所			
小 計	7.0 箇所	小 計	1.0 箇所	
		合 計	8.0 箇所	

